



■会長標語■

slow and steady WEST

—ゆっくり、着実に行動しよう—

2005-2006 年度

国際会長主題

“ Be Y smen in Deed not Y smen in Need ” “ 求めるワイズから行動するワイズへ ”

アジア会長主題

“ Lead by your own Action ” “ 行動するリーダーになろう ”

西日本区理事主題

“ GO Forward with Love and Courage ” - すずめ 愛と勇気をもって -

会長 中原一晃 副会長 河合久美子 書記 松本忠正 安平知史 会計 牧野万里子

強調月間

TOF - CS

今月の聖句

心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。

マタイによる福音書 第5章3-4節

ドライバー委員長

ドライバーとは！

桂 厚子



ドライバー委員会とは、例会の企画運営し、メンバー間の親睦をはかり、自己啓発を推進するものとなっています。まさにその期の会長の思いを体現し、かつメンバーの知的欲求を予算範囲の中で満足させ、その時々

数あるクラブの中で知り合ったメンバーですもの、いわゆる異業種職業ばらばら、40年も生まれた年が違う異世代が寄っているし、おまけに感性の違う男に女。そういう中で、いろんな話に参加すること。自分と意見が違って当たり前で、ここでも譲り合いながら他者を認めていく、対等な人格を認めていくのだと思います。だからワイワイ喋る場を機会をもっともっと作らないと思います。そして、ファミリーで楽しめるテニスやボーリング、ハイキング、バーベキューと、季節を楽しめる会も企画したい。例えそれが全員の参加でなくても、その中から選ぶことが出来る企画で、自分の合った日程行事であること、又それが知人を気軽に誘えるものになりたい。つまり EMC に繋がるものでありたいと思う。なんでも当然参加者が多い方がいいが、参加そのものが重荷になって面白くない。EMC も意識しながらそれが負担にならない仕組みをつくりたいとおも。

流れを作るべきで、時間外にも楽しい企画を、やるべきですし、もちろん家族をも巻き込んで仲間と集う楽しさを味わう場も提供すべきです。そうすると月2回の、スピーカーをお願いしているお話の例会は、自分の知らなかった事、改めて考え直す事、人の不思議を感じる事、へえ、へえ、の連発をしていただける感動のある講演をしていただける企画をしたいのです。そして、あるときには美味しいものを食べに行く企画をし、ワイズ談義の場であったり、仲間と酌み交わすお酒と笑いが日頃の仕事の疲れを忘れるひとときを、率先して作らないといけないと思うのです。例会だけではない、いや例会だけでは、ドライバー委員会の役目は果たせない。例えばメンバー間の親睦はやはりコミュニケーションが大切です。袖振る縁もなんとか、です。

最後に私の考える最高の親睦は、メンバー全員参加による何かを作ること、またはすることで、それはボランティア団体としてふさわしいことであるべきで、達成感、共有感を味わえるものではないかと思っています。と言いつつも、もう早やあとは数えるだけの例会になって、気持ちだけ力が入ってる状態ですが、文句も言わず？任せていただきメンバーの皆様

1月在籍者

会 員	第一例会	第二例会	93%	切手	0.Pt	第一例会	ネットファンド
27名	刈 15名	23名	(マイキャップ館)	現金	0.Pt	19,000円	0円
広義・功労会員	刈 2名	1名				第二例会	
0名	コミット 0名	0名				10,000円	
	ビジター 0名	0名	前月出席率	累計			ファンド
合 計	ゲスト 13名	0名	修正	切手	0.Pt	累計	年間合計
27名	計 30名	24名	なし	現金	0.Pt	108,635円	1,098,873円